

国防軍によるレナモ党基地の占拠について

平成25年10月22日
在モザンビーク日本国大使館

在留邦人の皆様

10月22日の報道で国防軍によりソファアラ州のレナモ党基地が占拠された旨、報道がありました。現在大使館においても情報収集を行っており、新たに情報が入り次第ご連絡いたします。

なお、在留邦人の皆様におかれましては、今後、ソファアラ州において更に治安の悪化が懸念されますので、各報道機関の情報によく注意し、ソファアラ州近郊への出張、旅行等を予定している方は、それらの是非を含め自らの安全につき真剣に検討を行い、十分な安全対策を講じることをお勧めいたします。

<報道概要>

- ・10月21日、13時頃ソファアラ州サントウンジラにおいて、国防軍施設がレナモゲリラ兵により襲撃を受けた。これに伴い、国防軍及び警察機動部隊はレナモゲリラ兵に応戦する形でレナモ党基地を占拠したが、レナモ党ドゥカラム党首を含むレナモ陣営は見つからず、既に、ゴロンゴーズの山中に逃亡したとみられている。

レナモ党報道担当官によれば、今回の国防軍及び警察機動隊によるレナモ基地占拠は、モザンビーク国内における複数政党による民主主義の終わりを意味しているが、レナモ党の今後の方針は決まっていないと述べた。

- ・国家防衛政策局長は、21日夕方にマプトで開かれた記者会見の場において、軍隊が再度レナモゲリラに襲撃されたことを公表し、今年4月からのレナモゲリラによる一連の襲撃事件を批判した。また、今回のレナモ基地占拠は、レナモゲリラを捕らえるために、レナモ基地内に攻め込み、結果として基地を占拠することとなったと述べた。

在モザンビーク日本国大使館

TEL： 21－499819／20（土日祝日を除く8：00～17：00）
84－4171150（土日祝日）